



## 夢広がる小6の娘 親ができることは？

小学6年の娘についてです。夢という夢もなくどんな職業に就きたいなど言ったこともなかったのが、最近では中学、高校、大学生活のことまでいろいろと聞いてくるようになりました。やってみたいことが出てきたようで「服飾系もいいな」「調理系もいいよね」「研究もやりたい！」などと言います。

やる気と興味が旺盛なのはうれしく、できるだけ答ええたり経験を話したりしていますが、経験してない進路や学校の特徴、最近の学校事情はよく知りません。進路選択の前段階で親にできることは何でしょうか。

## 先生、教えて！

子育て・教育相談コーナー



仙台市太白区  
30代・パート

からの質問

### ●回答してくれた人

畠山 明さん

はたけやま・あきら 気仙沼市出身。東北大学院修士課程を経て、1996年から個別教室のアップル・家庭教師のアップル(仙台市)代表などを務める。



好奇心旺盛なお子さんの様子、素晴らしいですね。引き続きのびのびと将来のイメージを育んでほしいです。

2003年に発売された村上龍「13歳のハローワーク」(幻冬舎)は、10代の子と親がいろいろな職業を学べる本として、ミリオンセラーになりました。一人一人の好きなことが、実は多くの職業の選択肢と結び付いていることを教えてください。

子どもが豊かな情報に触れられるよう、保護者は調べ方を支援しましょう。興味のある職業分野の本を読んだり、インターネットで調べたりするのも良い経験。視野が広がります。

今年は多くの学校が文化祭の一般公開を中止していますが、

## 進路情報に触れさせて

こんな時だからこそ気になる学校のホームページを巡るのも楽しいですね。保護者が多くの情報に詳しくなくても心配いりません。親子で一緒に学び体験する機会を作りましょう。私たちも学校の情報をご案内します。

進路を考える過程では自己分析も大切で、役立つのが身近な人の視点。以前あるお母さんが「うちの子はあっという間に友達をつくるんです」と感心していました。こうしたすてきな魅力に本人は案外無自覚。日頃のコミュニケーションの中で「こんなところがすごいね」と積極的に伝えてください。子どもの自己認識を高め、学習や進路に向かう「やる気のもと」をさらにたくましく育みます。

このコーナーは保護者からの子育てや教育についての相談を募集しています。メール、郵送のほかQRコードから応募できます。

▷記入事項 氏名、年齢、職業、住所、家族構成、電話番号、メールアドレス

▷宛先 〒980-8660 河北新報社  
こども新聞係。メールアドレスkyopro@po.kahoku.co.jp

